

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 字幕ビデオライブラリー事業費(国補)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2608)

E-mail: c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 738 千円 (前年度予算額：922 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|----------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 922 | 461 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 461 |
| 要求額 | 738 | 369 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 369 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

テレビ等の音声情報を十分享受することのできない聴覚障がい者に対し、音声情報を補完し、聴覚障がい者の生活文化の向上を図る。

(2) 事業内容

<字幕付き映像作品の製作・頒布>

映画、テレビ番組の映像に聴覚障がい者の鑑賞に適した良質な字幕又は手話を付したDVDを計画的、経済的、安定的に整備し、岐阜県聴覚障害者情報センター等で貸出を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 1/2 県 1/2 国庫補助 [地域生活支援事業]

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|--------------------------|
| 委託料 | 738 | 字幕原版作成、テロップ作成、ビデオテープ作成費等 |
| 合計 | 738 | |

決定額の考え方

事業評価調査書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

テレビ等の音声情報を十分享受することのできない聴覚障がい者に対し、字幕付きDVD等を貸し出すことで音声情報を補完し、聴覚障がい者の生活文化の向上を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目標 | 達成率 |
|-------|------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|-----|
| 製作作品数 | — (S63) | 50タイトル (H29) | 54タイトル (H30) | 48タイトル (R1) | 47タイトル (R3) | —% |
| 貸出本数 | — (S63) | 108本 (H29) | 142本 (H30) | 59本 (R1) | 同等数 (R3) | —% |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

(前年度の取組)

作品表の中から希望作品を選定して作成する。作成された映像作品は貸出機関である岐阜県聴覚障害者情報センターにおいて、利用者に関覧・貸出が行われる。

- ・令和元年度制作作品数：54タイトル（DVD）
- ・作品の内容：趣味や教養、障がいに関する報道や記録、教育、映画など

(前年度の成果)

貸出本数：59本、閲覧者数（センター内）：12名

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p> | |
| (評価) ○ | <p>聴覚障がい者に対する音声補完情報として欠かせないものとなっている。 本事業は、国庫補助事業である地域生活支援事業の都道府県事業に位置付けられており、聴覚障がい者の生活文化の向上が図られている。</p> |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p> | |
| (評価) ○ | <p>59本の貸出実績、12名の閲覧者実績があり、成果が得られている。</p> |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p> | |
| (評価) ○ | <p>貸出機関を通じて希望調査を実施することで、利用者のニーズを作品表に反映している。また、新たな入荷作品のリストを貸出機関のホームページに掲載するなど、利用者を増やすための取り組みがされている。</p> |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 貸出実績は減少傾向であるため、今後ますますの利用者拡大の取り組みが必要とされる。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コミュニケーション手段が限られる聴覚障がい者にとって、地域の人々との情報の格差が大きく、社会生活上孤立しがちであるため、自立して生活できるような情報支援が必要であり、今後は本事業のさらなる周知等、より多くの聴覚障がい者が利用できるような取り組む。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果 など | |